# NIE実践報告

１．タイトル：ＮＩＥを取り入れた道徳の時間の工夫

２．学校名

あま市立七宝北中学校

３．実践者名（代表者名）

豊田久晴

４．学年

中学校第二学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

学活・総合・道徳（学年６５名）

６．単元（本時の学習課題）名

いかに生きるべきかを見つめて

７．目標（狙い）

東日本大震災を自分たちの身近な問題ととらえ、テーマに沿った新聞記事を収集し、記事・写真や見出し等を活用して新聞切り抜き作品（私の視点）を作成する。

８．評価の視点

自分たちのテーマに沿った新聞切り抜き作品を作成することを通して、いかに生きるべきかを見つめることができたか。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

学活１時間　総合的な学習の時間　２時間　道徳の時間　２時間　計５時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①平成２３年３月１２日より新聞記事収集
②平成２３年５月９日　学活で新聞切り抜き作品のテーマを各班毎に決定
③平成２３年５月１１日　総合的な学習の時間で収集した新聞記事・見出し・写真等をレイアウトし、新聞切り抜き作品（私の視点）の作成
④平成２３年５月１３日　学校行事（授業参観）道徳の時間で各班の新聞切り抜きの発表（2時間完了）
発表後、教師からの講話。Ａ新聞社の新聞記事を紹介。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

今回の震災で多くの方が命を落としました。涙を流し、生きていこうと決意したことでしょう。震度７の揺れは、数え切れないほどの命を奪っていきました。命それはたった一つのかけがえのないものであり、親からいただいた大切なものでもあります。今回、震災にあって、亡くなられた方のためにも、決しておろそかにあつ

12．成果と課題

取り上げた題材が東日本大震災ということもあり、各班の発表はどれも命の大切さを伝えるには十分すぎるほどのものだった。道徳の時間を核とし、学活・総合的な学習の時間を一つの流れを考えて構成した。この授業を参観された保護者はこう感想を述べられた。「子供たちにとって、これからの人生できっと役に立てることができる授業だったと思います。普通に生活できる事を当たり前だと思わず、他の人の痛みのわかるそんな子供に成長していってほしいと思いました。」